北九州市・ＦＡＩＳサプライヤー応援隊事業

SQC カリキュラム

カリキュラムPOINT!

SQCとは、収集したデータを統計的手法を用いて解析し、品質管理や工程改善を行うための手法です。
この手法の習得により**問題解決を効果的、効率的、スピーディーに実施できるようになります。**

本カリキュラムでは、統計的品質管理（SQC）の重要性を理解し、統計的手法を用いた問題解決や改善について学びます。特に演習形式にてSQCの手法を習得いただけるのがポイントです。SQC手法を駆使し、**企業の技術課題を解決できる実務者の育成**を目的としたプログラムです。

会場
北九州産業学術推進機構
技術開発交流センター1階
中会議室
（北九州市若松区ひびきの北8−1）

日時
令和8年12月4日(金)
9:15～17:00

定員
先着20名
（自動車関係以外の製造業も申込可）

受講料
パーツネット会員：4,000円
一般：8,000円
(税込：当日持参または後日振込)

申込方法
裏面申込書をFAX又はメール

研修内容

① SQCの基礎
- データの特徴把握
- 不良率の計算
- 分散の加法性

② 管理図と工程能力
- 管理図の作成と見方
- 工程能力の計算、活用方法

③単相関・単回帰・重回帰
- 分析方法

＊演習内容については、各人でPCを操作して学習する演習形式で行います。
＊研修参加の際は、各自ノートPCを持参お願いします。

主催／北九州市、公益財団法人北九州産業学術推進機構
共催／先進モビリティ産業総合支援センター　後援／北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議

申込み問合せ
(公財)北九州産業学術推進機構
自動車産業支援センター（担当：冨田、片山）
〒808-0135　北九州市若松区ひびきの２－１
TEL 093-695-3685　FAX 093-695-3686
E-mail n-car2@ksrp.or.jp

「SQCカリキュラム」受講申込書

FAX 093-695-3686　E-mail n-car2@ksrp.or.jp

公益財団法人北九州産業学術推進機構 宛

令和　　年　　月　　日

フリガナ			
会社名			
所在地	〒		
フリガナ		年齢	
受講者氏名		10 代　・ 20 代　・ 30 代 40 代　・ 50 代　・ 60 代	
所属部署		役職	
QC検定の有無	有（　　級）　・　無		
連絡先 電話番号		E-mail	連絡はメールで行いますので、確実に受信できるアドレスをお願いします。

メールの場合は、上記を本文に記載して送付ください。
個人情報は、本事業の実施運営、講師に受講者情報をお知らせする場合にのみ使用いたします。

講 師 紹 介

トヨタ自動車九州株式会社
ＴＱＭ推進室 ／ 佐々木　康博　氏



《略歴》
2006年／トヨタ自動車九州(株)入社、品質管理部に配属
　　電送部品・システムの品質管理を担当
2010年／品質保証部へ異動、品質保証規則の整備を担当
2013年／TQM推進室へ異動、QC・SQC研修及び実践支援を担当
2025年／社内外でのTQM推進及び社外でのQC・SQC研修を担当

北九州市・FAIS サプライヤー応援隊事業とは

中小サプライヤーのものづくり力・生産性の向上、電動化等のＣＡＳＥに対応するための新たな技術・生産等への取組を支援します。

①　人材育成事業

現場改善や生産管理、電動化等最新技術解説などに関する階層別研修

(1) 若手･中堅技術者育成カリキュラム（実施日 6/18～19）	ものづくりや現場改善等の基本知識・スキルの習得など
(2) 標準化推進カリキュラム（実施日　7/23～24）	作業要領書作成やレベルアップ演習（FMEA活用）など
(3)リーダー･幹部育成カリキュラム（実施日8/6～7）	**現場改善や経営改善におけるマネジメントの習得など**
(4) SQCカリキュラム（実施予定１２月４日）	**課題解決や改善に向けた統計的手法の習得など**
(5) 機械学習入門カリキュラム（実施予定１月）New	機械学習の概略理解と利用区別など
(6) 機械学習実務初級カリキュラム（実施予定２月）New	機械学習活用の基本的な考え方や手法を習得など

②　出前講演事業

品質マネジメント（ＴＱＭ活動や方針管理等）に関する経営・管理者向け講義

③　現場派遣事業

電動化等に向けた環境整備（現場改善や技術導入等）に関する実践指導